

授業科目名 (英文表記)	政策形成論 ―社会や組織の問題解決のための論理的思考法入門― (Critical Thinking for Management Policy)		
単位数	2	授業形態	演習
担当教員	江口 雅祥		
開 講	岸和田サテライト	区 分	大学院
実施日・時間	第1回 11月7日(土) 10:00-13:00		
	第2回 11月28日(土) 10:00-13:00		
	第3回 12月12日(土) 14:00-17:00		
	第4回 12月26日(土) 10:00-13:00 ※		
	第5回 12月26日(土) 14:00-17:00 ※		
	第6回 1月9日(土) 10:00-13:00 ※		
	第7回 1月9日(土) 14:00-17:00 ※		
	第8回 1月23日(土) 14:00-17:00		

【授業の概要】

わたしたちは、社会や組織そして人生の問題について、ともすれば現実を複雑に考えすぎてしまうことが、問題を解決から遠ざけているのではないのでしょうか。この授業では、TOCfE(教育のためのTOC(Theory of Constraints : 制約理論))の3つのツールを用いて、問題をできるだけシンプルに分析し、対立を解消し、目標の実現に導くためのアプローチ法を学びます。これにより、社会や組織のマネジメントにおいて、明晰な思考や有効性の高いコミュニケーションを行うための基礎的思考能力を獲得することをめざします。

【授業計画】

- 第1回：チームビルディング、イントロダクション、因果ツリー図（ロジック・ブランチ）演習その1
- 第2回：因果ツリー図（ロジック・ブランチ）演習その2
- 第3回：因果ツリー図（ロジック・ブランチ）演習その3
- 第4回：対立解消図（クラウド）演習
- 第5回：中間目標マップ（アンビシャス・ターゲット・ツリー）演習
- 第6回：3つのツールを用いた応用演習その1
- 第7回：3つのツールを用いた応用演習その2
- 第8回：まとめ

以上を予定していますが、参加者のペースに合わせて、進行は調整します。

【到達目標】

TOCfE(教育のためのTOC理論)の3つのツールである、因果ツリー図(ロジック・ブランチ)、対立解消図(クラウド)、中間目標マップ(アンビシャス・ターゲット・ツリー)を使いこなすことで、社会や組織、人生等の問題について、自分がリーダーシップを発揮して、チームのメンバーとコミュニケーションをとったり、解決策を導いたりすることができる。

【成績評価方法】

- ①出席状況(4分の3以上の出席時間が単位認定に必須)、②授業中の個人・グループのワークへの取り組み度、③授業間の課題とする個人レポート、の3つを総合して成績評価を行います。試験は行いません。

【教科書】

教材は講師から配布します。

【参考書・参考文献】

エリヤフ・ゴールドラット 「ザ・チョイス 複雑さに惑わされるな」 ダイアモンド社、2008年

エリヤフ・ゴールドラット 「ザ・ゴール2 思考プロセス」 ダイアモンド社、2002年

岸良裕司、きしまゆこ 「考える力をつける3つの道具」 ダイアモンド社、2014年

岸良裕司 「全体最適の問題解決入門」 ダイアモンド社、2008年

H・ウィリアム・デトマー 「ゴールドラット博士の論理思考プロセス」 同友館、2006年

【履修上の注意・メッセージ】

授業は、毎回、数人単位でのグループワーク形式を中心に行います。講師の解説を踏まえて、参加者(受講生)が練習問題やグループワークに取り組んだり、参加者間でディスカッションを行ったりするスタイルで進めます。したがって、毎回の授業への積極的な参加(頭を回す、手を動かす、協働する、発言・質問する)が必須です。脳に汗をかくので、最初はしんどいと思う方が多いかもしれませんが、次第に楽しくなってくるでしょう。

【授業時間外学習】

毎回、次回までの簡単な課題レポート(授業で学んだツールを用いた、問題解決の図式化)を課します。次回の開講時には2部(講師への提出用と自分用)を持参すること。

【その他連絡事項】

授業形態は、いわゆる「講義」形式(講師の話が主)ではなく、むしろ参加者が主の「演習」形式なので注意してください。